

## WebCT の索引とは

WebCT では「インデックス」というツールが用意されており、このツールを利用して索引を簡単に作成することができます。このツールは、ツールとして単独にも存在しますが、コンテンツモジュールのアクションメニューの中にも組み込むことが可能です。

索引のエントリとして利用できるものはコンテンツモジュールのページとして追加されたものです。そのため、あらかじめページがあるコンテンツモジュールをコースに追加しておく必要があります。

この Tips は以下の内容を含んでいます。

- インデックスツールを追加する
- インデックスエントリを追加する
- インデックスエントリの編集・削除
- 補足事項

### コースインデックス

- **テレビ体操**  
リズムミック [リズムに乗って足踏み](#)
- **ラジオ体操**  
リラックス [のび](#)  
関節と筋肉のリラックス [腕を振ってあしをまげのぼす](#)

図 1：インデックス例

### 今回の利用するサンプル素材

この Tips ではあらかじめ「体操 1」というコンテンツモジュールがあり、コンテンツページが 2 ページ用意されているものとしてご説明いたします。

### 目次

- ▼ 1. ラジオ体操第一
  - 1.1. [のび](#)
  - 1.2. [腕を振ってあしをまげのぼす](#)
- 2. ラジオ体操第2

図 2：利用するコンテンツモジュールの目次画面

## インデックスツールの追加

インデックスツールを、ツールとしてコースに追加するか、またはコンテンツモジュールのアクションメニューとして追加することによってインデックスを利用できます。

ここでは、コンテンツモジュールのアクションメニューに追加する手順を説明します。アクションメニューに追加する場合、すべてのコンテンツページに表示させる場合と特定のコンテンツページにのみ表示させる場合とは設定手順が異なります。

### すべてのコンテンツページに追加する手順

1. インデックスを追加したいコンテンツモジュールの目次画面を編集モードで表示します。
2. 画面右端に表示される「アクション」の下で、「コンテンツモジュール設定の編集」をクリックします。コンテンツモジュール設定画面が表示されます。
3. 「コンテンツモジュールアクションメニュー」の下で、「インデックス」と書かれた部分の左にあるチェックボックスにチェックをいれます。(図 3 参照)
4. 最後に更新をクリックします。再び目次画面が編集モードで表示されます。
5. 学生に変更を反映するために、「アクション」の下で「学生ビューの更新」をクリックします。コンテンツページの学生ビューの更新画面が表示されます。
6. 「テキスト、カラー、アクションメニューへの変更だけを更新」を選択し、更新をクリックします。学生ビューの更新結果画面が表示されます。

7. 最後に、「<コンテンツページ名>に戻る」をクリックしてコンテンツモジュールに戻ります。アクションメニューに追加されているかコンテンツページを開いて確認します。



図 3：コンテンツモジュール設定画面

### 特定のコンテンツページに追加する手順

1. インデックスを追加したいコンテンツページを編集モードで表示します。
2. 画面下方部に「インデックス」と書かれている左にチェックボックスがあるのでチェックをいれます。(図4参照)
3. **更新** をクリックします。再び**コンテンツページの編集画面**が表示されます。その際「インデックス」の左にあるチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。<sup>1</sup>
4. 画面上部の「学生ビューを更新」をクリックします。コンテンツページの**学生ビューの更新画面**が表示されます。
5. 「テキスト、カラー、アクションメニューへの変更だけを更新」を選択し、**更新** をクリックします。
6. **学生ビューの更新結果画面**が表示されます。最後に、「<コンテンツページ名>に戻る」をクリックしてコンテンツモジュールに戻ります。
7. 特定のページのアクションメニューのみに「インデックス」がついているかを確認します。

<sup>1</sup> インデックスの横に「\*」(アスタリスク)がつく場合は、コンテンツモジュール全体の設定とこのページの設定が違うことを表しています。

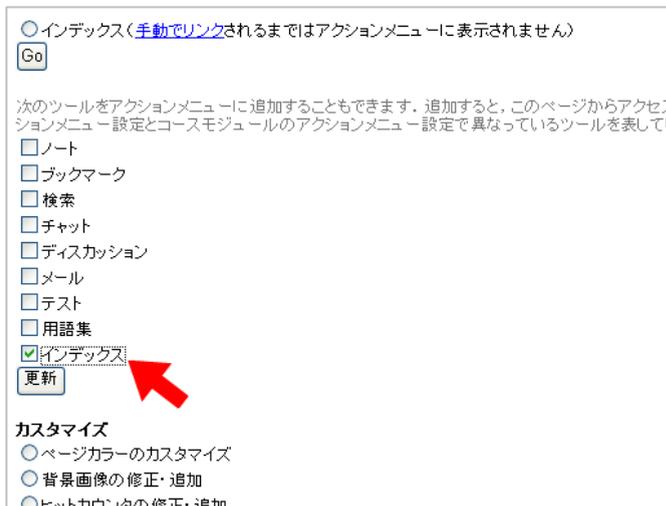


図 4：コンテンツページ編集画面

ここまでの作業ではインデックスというアクションメニューを追加しただけです。次にアクションメニューのエントリーを作成します。

## インデックスエントリーを追加

実際にインデックスのエントリーを作成する手順を説明します。

### 手順

1. **インデックスの編集画面**を表示させます。
  - ツールの場合  
インデックスツールを表示します。メニューバーで「編集」をクリックします。
  - アクションメニューの場合  
インデックスを追加したコンテンツページを編集モードで表示します。「メインオプション」の下で、「インデックス」を選択し、**Go** をクリックします。(図5参照)
2. 「インデックスエントリーの追加」の下に必要な事項を記入します。
  - インデックスエントリーの追加  
コンテンツページのキーワードを記入します。
  - サブエントリー(任意)  
インデックスエントリーをさらに細分化して作りたい時に記入します。
  - ページ  
インデックスの対象となるコンテンツページを選択します。
3. 最後に**追加** をクリックします。**インデックスの編集画面**が表示されます。2.で作成した内容が「インデックスエントリー：」の下に追加されていることを確認します。

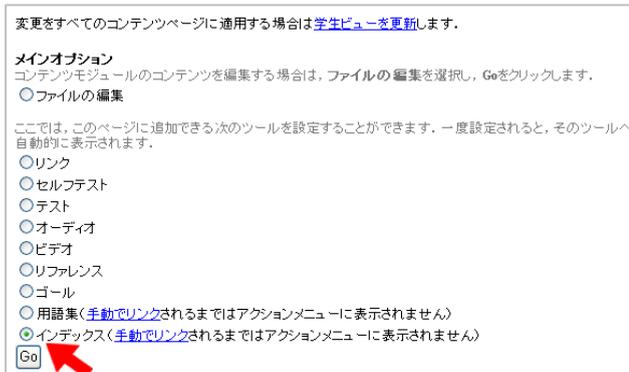


図 5 : アクションメニューのインデックスの設定を表示するためのメニュー

## インデックスエントリの編集・削除

インデックスエントリの編集・削除の手順です。必要に応じて操作してください。

### 編集

1. **インデックスの編集画面**を表示させます。
2. 「インデックスエントリ：」の下で、編集を行うインデックスエントリの左にあるチェックボックスにチェックをいれます。
3. 「他のオプション」の下で「編集」を選択して **Go** をクリックします。
4. **インデックスエントリエディタ**画面が表示されるので、編集を行います。最後に**更新**をクリックします。**インデックスの編集画面**が表示されます。
5. 3.で編集した内容が「インデックスエントリ：」の下に表示されていることを確認します。

### 削除

1. **インデックスの編集画面**を表示させます。
2. オプションを選択し **Go** をクリックします。
  - 数個のエントリのみ削除  
「インデックスエントリ：」の下で、削除を行うインデックスエントリの左にあるチェックボックスにチェックをいれます。  
「他のオプション」の下で「削除」を選択します。
  - すべてのエントリを削除  
「他のオプション」の下で「リセット」を選択します。
3. 再び**インデックスの編集画面**が表示されます。指定したエントリまたは、すべてのエントリが削除されていることを確認します。

## 補足事項

### 補足

- 一度インデックスツールにインデックスエントリを追加すると、コースのいたるところのインデックスに反映されます。
- インデックスツールでは、エントリのアルファベット順に並べられるのですが、日本語の場合、文字コード順に並べられます。  
(例) エントリに、「こま」「コマ」「駒」がある場合：「コマ」「こま」「駒」の順に並びます。
- インデックスから、コンテンツページへのリンクをクリックすると新しいウィンドウが立ち上がってコンテンツページの内容をみることができます。
- インデックスから、コンテンツページへのリンクをクリックしてコンテンツページを閲覧した場合においても学生トラッキングのページアクセス数にはカウントされます。

この Tips は以下の環境で確認しました。

サーバ :WebCT3.8 日本語版 / RedhatLinux 7.3  
クライアントOS :WindowsXP  
クライアントブラウザ :IE6.0SP1

(2003年11月13日 瀧 美渚子作成)